



高校卒業後に上京するまで、大阪府門真市の古川橋界隈で育ちました。経済的には豊かではなかったけど、おせっかいなおばちゃんやおっちゃんが、人生で大事にせなあかんことは何かを教えてくださいました。自分の核を作ってくれた場所です。

ふるかわばしかいわい
古川橋界隈 (大阪府門真市)

門真といえは、世界のパナソニックのイメージもあるけど、両親と弟の4人で住んでいた京阪古川橋駅周辺は下町。駅前にはいくつも商店街があっただけで、暮らしていたのは数戸で一棟といつ長屋。天井が下がってるから、半分一緒に住んでる親戚みたいなもん。せやから、長屋の子はみんな「う

ちらの子」。誰かが泣いたら、声をかける。それが当たり前やったんです。外で悪ざりて帰ると、もう母親の耳に入ってる。携帯電話もない時代のや。

銭湯の「皆様温泉」に行くのが楽しみでした。大人になり、いつも機嫌が悪かったわけを尋ねたら「社会に出たら嫌なことが多い。せめて家は明るい、楽しい場所であってほしい」。

世の中の理不尽を知ったのもこの頃。けんかして「誰にやられた」と聞いても黙ってる友人に「なんで言えへん」と聞いたら「お前日本人にやられたんや。意味がわからず家で親に尋ねたら、在日コリアンやった。腹が立った。仲間を苦しめる社会を作った大人なんか信用しない、自分の体験だけ信じる」と。

おせっかい 当たり前



山本 シュウワさん 54
ラジオDJ

やまと・しゅう 大阪府門真市出身。移住しよと渡った米国で芸能事務所関係者に誘われ、帰国後の1999年、ラジオDJに。2012年からNHK・Eテレ「バリバラ」で司会を担当。「自分に足りないのは爽やかさ」と「レモンさん」を名乗り、レモンのかぶり物姿で講演活動も。



家に風呂がなかったため、通っていた銭湯「皆様温泉」。「改装して外観は変わったけど、前を通るとお湯のいい匂いがあるのは変わらない」と山本さん（大阪府門真市で）＝耕田直也撮影

シャベリが達者で、小学生の頃は女子に交じて「C君が交換日記してくれへん」とか相談に乗ってました。ほとんどおせっかいおばちゃん。市立第一中学校（閉校）では、気が付いたら推されたという感じで生徒会長と野球部のキャプテンを務めました。仲間意識が強く、「あの子とつき合うな」と言われると教師にもキレた。「仲間と食い物と笑いがあれば、いつでもどこでもハッピーになれる」と感じました。

親は今も門真で暮らしてます。周りには相変わらずおせっかいな人が多い。ホッとしますね。